

臨床微生物学の「礎」を築いた人々

— 気道関連の微生物研究に携わった研究者達の技術と思索 —

臨床微生物学の「礎」を築いた人々

— 気道関連の微生物研究に携わった研究者達の技術と思索 —
の連載にあたり

医療法人社団愛友会 上尾中央総合病院
臨床検査科長・感染制御室長

くま さか かず なり
熊 坂 一 成
kazunari KUMASAKA

Modern Mediaの本年2月号に、帝京大学名誉教授の紺野昌俊先生が自費出版された、「概説 インフルエンザとインフルエンザ菌 —ヒトの鼻腔に棲息し、時に病原を発揮する細菌の研究をする若い研究者への提言—」を紹介させていただいた。前例が無いことであるが一般の書店では入手不可能なこの本を、紺野先生のご厚意で若い研究者のために50冊ほど、本誌編集部に分けていただき、本誌の読者で希望される方にお送りできた。

私の予想通りに、紺野先生にとっては予想を超えた多くの読者の反応があった。そして、私が書評に述べた一文「もし、紺野先生のこのご企画を本誌モダンメディアの編集委員である私が前もって知っていたならば、ぜひとも本誌に連載をお願いしたと思う。」が紺野先生のお目にとまった。

このような経過から、改めて、この本で紹介された研究者の中から印象深い方々を年代順に取り上げ、今日においても得られる教訓を本誌に記述していただけることになった。

日本臨床微生物学会の生みの親である、紺野先生でなければ書けない、この企画が、今後の日本の微生物検査に携わる方々のお役に立てることを確信している。